



# 立志の丘

第38号  
R6.2.15  
西目中学校  
文責：菊地

## 新入生体験入学・入学説明会

～ようこそ西目中学校へ～

9日(金)に、令和6年度の新入生体験入学・入学説明会が開かれ、4月に入学する6年生並びに保護者の皆様が来校しました。

オリエンテーションでは、校長、生徒会長のあいさつの後、生徒会総務の1年生が中心となって作成した「学校紹介」をもとに、中学校生活について紹介があり、その後、各部活動の代表生徒から部活動紹介をしてもらいました。



質疑応答の場面では、6年生からたくさんの質問が出され、その場にいた1・2年生が、これまでの中学校生活を踏まえながら一つ一つの質問に回答してくれました。

後半は、保護者の皆様向けに説明をしている時間を利用して、3年生の案内で各学年の授業を参観してもらいました。

閉会行事では、6年松組・竹組の代表児童から感想を発表してもらいましたが、中学校での生活についてイメージを膨らませることができたようでした。新入生全員が大きな希望をもって入学することを期待しています。

来年度の入学式は、4月8日(月)の午後から行われる予定です。



【部活動紹介】



【授業参観】

今年度最後の

## P T A 授業参観日

ご出席ありがとうございました

14日(水)に、今年度最後となるP T A授業参観が行われました。

参観授業は、1年生が認知症サポーター養成講座、2年生が保体(P T C R : 卓球・バドミントン)、3年生が学級活動(進路について)でした。

その後、各学年懇談、そして16時過ぎからは第2回P T A役員会が開催されました。

保護者の皆様、お忙しい中、ご出席くださりましてありがとうございました。

### 【1年】認知症サポーター養成講座



※講師は、由利本荘市健康福祉部地域包括支援センター主席主査 小\*\*\*氏と市社会福祉協議会西目支所長 今\*\*\*氏

### 【2年P T C R】



### 【3年学級活動】



# 今年度最後の発表集会

7日(水)に、今年度最後となる発表集会が行われました。3年生にとっては、これが最後の発表となりました。

3年生の発表を紹介します。

## 【3年A組 佐\*\*\*\*】

3月5日の入試まであと27日。卒業式まであと31日。中学校生活も本当にあと残りわずかなのだと、改めて実感しています。この一年は僕にとって挑戦の連続だったと思います。

4月。クラスのリーダーとして、学級をまとめてみたい。そう思った僕は、それまで経験のなかった学級委員長に立候補しました。授業の号令、話合いの進行、全校委員会や生徒総会での発表など、この立場でなければ経験できないことを、たくさん積み重ねてきました。

なかでも、やはり、最後の学校行事は忘れられないものとなりました。

3年A組の学級目標は、一翔懸明～卍天下無双卍。体育祭・合唱コンクール・球技大会。三つの学級対抗の行事を全て勝つ「三冠」を達成することも目標に、互いに高め合うクラスを目指し、全員で意見を出し合い、決定した学級目標でした。

ひとつひとつの行事に思い入れがあり、忘れられないエピソードもたくさんあるのですが、ここでは割愛します。詳しいことは、生徒会誌「潮風」の原稿に書きましたので、皆さん読んでみてください。

結果、三冠を達成することはできなかったのですが、感謝・感激・感動この三つの三感をこのクラスでたくさん味わうことができました。

中学校生活の3年間は、つらいこともたくさんありましたが、この学年だから乗り越えられたし、それ以上にとっても楽しかったです。

僕たちはこれから別々の道に進むこととなりますが、夢に向かって突き進んでいきましょう。

また、先生方にもたくさん迷惑をかけましたが、今まで支えてくれてありがとうございました。

## 【3年B組 山\*\*\*】

私は9月から12月の約4か月間、秋田県選抜のメンバーとして活動しました。

私が県選抜チームのトライアウトを受けた理由は2年前にあります。私には2つ上の姉がおり、私と同じ秋田県選抜として活動していま

た。その練習に参加した際に、こんなレベルの高い場所で私もバレーボールがしたいと思ったことがトライアウトを受けるきっかけとなりました。ずっと目標としていた県選抜メンバーに選ばれた時は、うれしい気持ちでいっぱいでした。ですが、それ以上に秋田の代表という責任の重さに不安を感じている自分がいました。そこから私の4か月間が始まりました。

県選抜の主な活動は、水曜日と木曜日の7時から9時の平日練習と、土曜日・日曜日の週末の1日練習の週4日の練習でした。活動を始めてからの1か月間は、学校から帰り、1時間かけて練習場所に行き練習し、家に着くのは10時過ぎで、テストが近いと12時ごろまで勉強して寝る。そんな過酷な生活に体が追いつかず、学校ですれ違う先生方に「大丈夫？」とよく声をかけられました。それでも県選抜で活動できることが幸せで、毎日がすごく刺激的で練習に行くのがとても楽しみでした。

しかし、活動を始めて1か月が経った頃、左足首に痛みを感じはじめ、検査した結果「疲労骨折」の診断を受けました。しばらく練習を休まなければならないと聞いた時、後れをとるのが怖く、怪我のことを伝えず練習しようとも考えました。外から練習している仲間の姿を見るのがとても辛く、苦しかったです。チームの一員として今の私にできることを考え、みんなと一緒に戦い、そして必ず復帰して本大会でコートに立つと決め、自分のできることに全力を尽くしました。

そして迎えた本大会。誓った通り、コートに復帰し全力で躍動できました。それでも全国の壁は高く、予選敗退という結果で終わってしまいました。全国での勝利は叶いませんでしたが、大会までの過程で得た仲間との絆、諦めない気持ち、感謝の心といったものが私を大きく成長させてくれました。県選抜での活動を高校でも生かしていきたいと思います。

最後に3Bのみんなへ。県選抜の練習で疲れていても、明るくて笑いの絶えない3Bにいると自然と疲れを忘れ、笑顔になっていました。大会前には、帰りの会でエールしてくれたり寄せ書きをプレゼントしてくれたり本当にみんなには感謝しかありません。

球技大会も「Winner」を合い言葉に、みんなで練習して、優勝できたことがとてもうれしくて、あの時間にもう一度戻りたくて仕方ないです。残りの2か月も3Bらしく全力で楽しもうね。